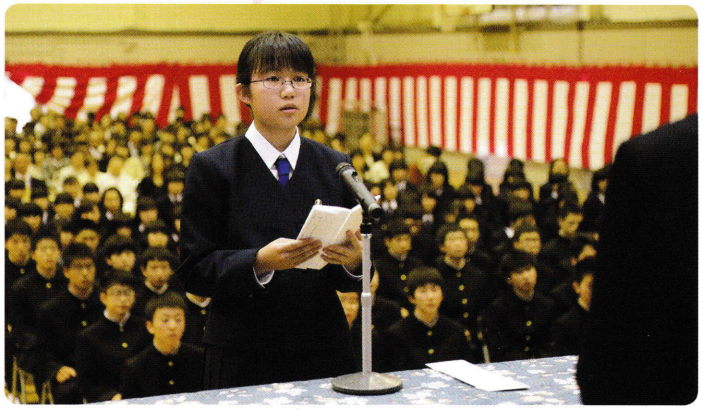
広報

みなみ

MINAMI Vol. 128

題字揮毫　加賀谷　雪泉



SSHの推進

校長　三上　隆裕

本校は昨年度、SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）校として、文部科学省より五年間の研究指定を受けました。

昨年度は一年次において、青森県の科学資源である3ER（エネルギー資源・生態系資源・産業資源）の探究活動を通じて、科学的な物の見方・考え方の基本となる「科学的リテラシー」の育成を目指して取り組んできました。四月の「探究型学習の進め方」の講演会から始まり、五月の「3ER講演会」、六月の弘前大学大学院生による「研究紹介」等により、探究活動のテーマや仮説の設定、実験・実習からまとめの方法まで、探究型学習の進め方を学んできました。生徒達は、各クラスが四名を一班として、十班に分かれ、「調べて、実験して、まとめて、発表する」形を基本に、探究活動に取り組んできました。

七月下旬の中間発表会（ポスター発表）を経て、八月には、「3ER実地研修」として、各班のテーマに関連する、県内十六の研究施設や民間企業等をバス七台で訪れ、施設見学や実験講座により、それぞれの班の取組の理解を深めるとともに、ポスター発表に対するアドバイスもいただいてきました。十月にはそのアドバイスをもとに、第二体育館において、各クラス代表による「研究発表会」を行いました。この発表会での上位二班は、十二月に弘前大学で行われた「県高校理数系課題研究発表大会」においても、発表しています。生徒達は、この探究活動の報告書を「南陵ゼミI」の時間を利用して英訳したリーフレットを用いて、二月には、弘前大学と青森中央学院大学の留学生との交流会を行っています。

また、理型一クラス四十名を「SSHコース」として設定し、一年次の三月には、東北大学（医学部・工学部）と筑波研究学園都市の研究施設（つくば宇宙センターやサイバーダイン等）での研修をすでに終え、二年次の現在は、弘前大学の理工学部と農学生命科学部の各研究室と連携した「課題研究」に関する、各班の研究計画を策定しているところです。今後は、「南陵ゼミII」を活用した海外の高校生（タイの高校を予定）との交流や、「南陵ラボII」を活用した、科学者としての基本や心構えを学ぶ「科学者必携」等、レベルの高い取組を通じて、東北大学等、難関大学への進学も視野に入れた、「科学のスペシャリスト」を育成しようと考えています。

最後に、SSH事業は「地域に学び、社会に貢献する人材の育成」を目的に行っています。この事業の一つ一つへの取組が、必ずや生徒一人一人の財産となり、さらには、「人間力」の育成につながるものと信じています。

生かされている自分

父母と教師の会 会長　長内幸之修

総合学習の時間の中で、小学校5年生対象（豊田小）に農業体験学習を行って、二十一年目になりますが、自らの興味や関心をもとに、地域や自然の中で様々な体験することによって、豊かな感性、創造力が身に付くもんですね。「流石」

高校時代は、皆さんの人生の中で恐らく一番自分を成長させる時期かと思います。勉学（最優先）、スポーツあるいは友情を育むことに精一杯集中することができる時期は、まさに青春そのものであります。大いに青春を爆発させて下さい。もちろん、南高生として節度を十分にわきまえてのことですが。

どんな人でも一人では生きられません。人間というのは人の間と書くように、人は人と人の間でお互いに生きていられるのです。

皆さんもご家族以外の多くの方、例えば、先生方や様々な方々のお世話になって今日を迎えているわけです。

ですから、皆さんも高校生ができる範囲で人のために役立つことを心がけていただきたいと思うのです。

熊本、東日本大震災では、多くのボランティアの人たちが活動しました。高校生の姿も数多くありました。素晴らしいことです。自分が他の人、社会の人たちに役立つという事は、自分が他の人たちに必要とされているということです。出来る範囲でのボランティア活動に是非、参加してみて下さい。新しい自分が発見でき、社会との繋がりが広がることでしょう。

保護者の皆様、父母と教師の会もボランティア活動です。それぞれの心田を耕すつもりで積極的に参加していただき、みなさんと一緒に子どもたちのために、南高校のために尽力していきたいものです。

どうぞこの一年よろしくお願いいたします。

育励会とは何か

育励会代表理事　藤田　隆彦

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

私は藤田隆彦と申します。本校一回生であると同時に育励会代表理事をおおせつかっております。

〝育励会〟て何ですかと問われるといわゆる〝後援会〟弘前南高校の全てにわたり応援している団体であり、保護者の皆さん、そして卒業生と一緒になり母校の為に手助けをしている組織であります。

先日、県内四十一校を四校に統合という新聞記事を見て「びっくり」。弘前実業の農業科募集停止。黒石商業の統合等が計画されております。

地域の声はどこに?我が母校弘前南高校は今後どうなるのか。心配である。

いよいよジャンプの年！

三年次委員長　石山　雅大

昨年のご挨拶では、高校生活を三段跳びに例えホップ（一年次）、ステップ（二年次）とご紹介しました。いよいよ三年次、これまで蓄えた力を存分に発揮し、進学、就職などそれぞれの道へ向かって大きくジャンプする年です。今年度も弘南生一人ひとりのため、教職員・保護者の皆様とともに全力でバックアップしていきます！

ゴールを目指して

二年次委員長　田村豊佳子

南高校の伝統的行事であるマラソン大会に例えると二年次では中間地点・折り返しとゴールに向かって走り続けます。途中平坦な道のりではないと思います。しかし、それぞれのゴールを目指し自分のペースで走って下さい。周りには支えてくれる先生方・家族・友達がいることも忘れないで下さい。ゴールまで諦めず、進路実現に向けて後押ししていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

新しい一歩

一年次委員長　對馬真理子

高校生活もスタートし、不安とともにお引き受けした委員長ですが、これから始まる色々な学校行事、ＰＴＡ活動のお役に立てるように、教職員の方々、保護者の皆様に御指導、御協力をいただきながら、精一杯務めさせていただきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

各委員の紹介

総計74名

◎委員長　○副委員長

■生徒指導委員会

三年次◎佐藤　晴子　長内幸之修　工藤　一仁
三浦　克之　奈良脇麻美　境　美穂子
菊池　稔
二年次○今井　正樹　熊谷　咲子　工藤　孝夫
田中　睦子　内藤　美貴　雪田奈津子
一年次○成田佐知子　木村　聡　小山内圭子
木村　周平　石岡　悟　花田　祐司
一戸　徳子　金木しげみ

■進路対策委員会

三年次◎長内　央臣　長内　五月　秋本　将博
三浦　世津　木村比呂樹　下屋　真理
成田　善一
二年次○フォーサイス・エドワード　井澤由美子
三上　理花　佐々木正和
塚本　正美　木田　春美
一年次○鈴木　勝子　山本　茂男　對馬真理子
三浦千恵子　佐藤　千秋　工藤　直也
工藤奈津美

■文化委員会

三年次◎高谷　倫友　隅田　浩巳　太田　悦子
外川　公章　工藤　秀麿　鳴海　清子
二年次○工藤アイリン　田中　葉子　船水真紀子
山田　英鈴　村谷早智子　鳴海　昌昭
一年次○久保田淳子　鎌田　真貴　谷沢　孝子
藤田　幸子　西村　一幸　葛西　成子

■広報委員会

三年次◎相馬　清志　石山　雅大　菊池　力
白取美穂子
二年次○米澤美穂子　一戸久美子　佐藤　恵
田村豊佳子　藤田　殉子
一年次○丹代奈津子　種市　美鶴　木田　真澄
山﨑真実子　長尾　牧子　有賀　朝子

新任者の紹介

4月から赴任された教職員の方々です。
所属・教科等については以下をご覧ください。

對馬（つしま）　拡（ひろむ）
生徒指導部・三年次付
保健体育・陸上競技部

種市（たねいち）　了三（りょうぞう）
教務部・二年次付
英語・写真部

成田（なりた）　弘行（ひろゆき）
教頭
数学

一戸（いちのへ）　右真（ゆうま）
25HR担任
数学・バドミントン部

川浪（かわなみ）　陽平（ようへい）
21HR担任
国語・サッカー部

太田（おおた）　暁介（きょうすけ）
14HR担任
数学・バレーボール部

栗林美知子（くりばやし　みちこ）
サイエンス指導部・一年次付
化学・書道部

田澤美保子（たざわ　みおこ）
サイエンス指導部・二年次付
英語・インターアクト部

森（もり）　栄一郎（えいいちろう）
進路指導部・一年次付
英語・演劇部

齋藤（さいとう）　明弘（あきひろ）
事務部

中山（なかやま）　善貴（よしたか）
事務部

柾木富美子（まさき　とみこ）
美術

佐藤（さとう）　鈴香（すずか）
保健相談部・一年次付
保健体育・バスケットボール部

澤村（さわむら）　大祐（だいすけ）
サイエンス指導部・二年次付
生物・空手道部

坂本（さかもと）　絵理（えり）
進路指導部・一年次付
国語・弓道部

最後の一年

第三年次主任　工藤　温志

保護者の皆様におかれましては、昨年度も年次の活動に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

いよいよ高校生活の最後の一年となりました。生徒は、自身の進路志望を達成するために、必死で努力を重ねなければなりません。

その間、悩み苦しみ、ときには目を背け逃げ出したくなることもあるでしょうが、そこで諦めず立ち向かって、最後には苦しかったけど頑張ってよかったと思えるような一年にしてもらいたいと思います。そのような一年とできるよう、年次一同精一杯支援して行きたいと思いますので、引き続き御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

決意、新たに

第二年次主任　高橋　知子

二年次は、部活動でも学校行事でも中心的な役割を求められるようになります。また、自分自身の進路目標を実現する上で、最も重要な年になります。この二年次の過ごし方で、未来は変わっていきます。

日々、漫然と過ごしていては、あっという間に三年次になってしまいますので、今年は、早期に具体的な目標を決めて欲しいと思っています。五年後、十年後、自分は何をしているか？ともう一度、自分自身に聞いてみてください。まだ決まらないと言って、勉強から逃げてはいけません。三年次にうまく繋げるためにも、決意を新たに一歩を踏み出して欲しいと思っています。

私たちは、その一歩一歩をサポートしていきますので、今年も保護者の皆様、どうぞ御協力宜しくお願いします。

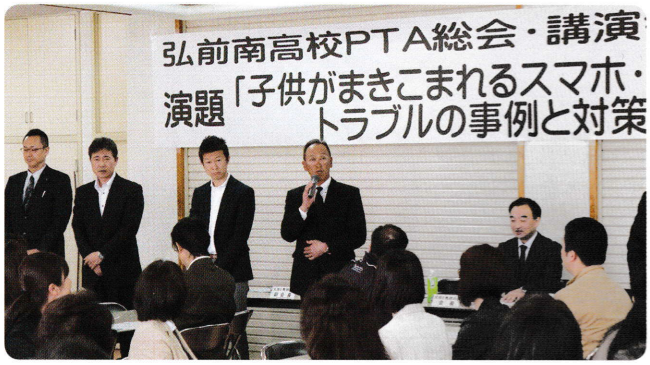
普通が良い

第一年次主任　三橋　敬勝

高校生は朝、学校に行き、学校で勉強をし、放課後は部活動に励み、家に帰って、風呂に入り、夕食を食べ、余暇を過ごし、勉強して、寝ることが普通である。私は、この「普通」が「幸せ」なことだと思う。ごく当たり前のことは何も感じないことが多いが、人によってはこの「普通」が「普通」でない人もいる。今、平和に過ごせることに感謝し、生徒一人一人が描いている未来予想図に近づけるように努力し指導を続けたいと思う。一生に一度しかない高校生活を満喫するためにも、「普通」をやり遂げる為にも何卒、ご父兄の皆様、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

PTA総会

４月22日午後１時から本校生徒会館にて、今年度のPTA総会が行われました。前年度の庶務・決算報告、今年度の事業計画・予算案が承認され、新PTA会長には、長内幸之修さんが選ばれました。



PTA講演会

４月22日、総会後に、保護者向けPTA講演会が開催されました。今回はKDDI東北総支社から東島正幸氏を講師にむかえ、「子供がまきこまれるスマホ・ケータイのトラブルの事例と対策について」のテーマで行われました。数多くの会員が参加し、参考になる内容でした。

マラソン大会

昨年、マラソン大会のお手伝いをさせて頂き生徒さん達の一生懸命走る姿に逆に感動させていただきました。そして今年も、走って苦しみながらも私たちの声援に元気に返答してくれる生徒さん達の様々な姿に、又々たくさんの感動を頂きました。来年もまたお手伝いに参加できることを心から楽しみにしています。　**進路対策委員　井澤由美子**

入学式

４月６日、今年度の入学式が行われました。55回生となる新入生たちは、担任の先生に名前を呼ばれて、元気よく返事をしていました。また、新入生代表の佐藤祐希乃さんが決意表明を行いました。表紙の写真も入学式のものです。

進路の軌跡

平成29年度入試
国公立大学合格者数（3/28現在）

学校名	学部名	計
北海道教育大函館校	教　育	2
弘前大	人文社会	6
	教　育	6
	理　工	15
	農学生命	4
	弘前大学 合計	31
岩手大	人文社会	4
	教　育	
	理　工	
東北大	工	1
秋田大	理　工	2
宇都宮大	工	1
電気通信大	情報理工	2
国立大 合計		43
名寄市立大	保健福祉	1
青森県立保健大	健康科学	4
青森公立大	経営経済	11
岩手県立大	ソフトウェア	2
宮城大	食産業学類	1
国際教養大	国際教養	1
高崎経大	地域政策	3
	経　済	
新潟県立大	国際地域	1
公立大 合計		24
国公立大 合計		67

私立大学合格者147名

札幌大	2	東北文化学園大	1
札幌学院大	5	尚絅学院大	1
北海道医療大	1	東北芸術工大	1
酪農学園大	2	関東学園大	1
北翔大	1	跡見学園女子大	1
青森大	4	獨協大	1
東北女子大	16	東洋学園大	1
八戸工大	6	麗澤大	1
弘前学院大	20	大東文化大	1
青森中央学院大	11	拓殖大	1
弘前医療福祉大	11	東海大	3
岩手医大	2	東京音大	1
盛岡大	1	東京家政大	4
仙台大	1	日本大	3
石巻専修大	4	武蔵野大	1
東北学院大	11	明星大	1
東北工大	1	立正大	1
東北福祉大	8	神奈川大	4
東北医科薬科大	2	関東学院大	1
宮城学院女子大	5	横浜薬大	1
仙台白百合女大	2	四国学院大	1

◆就職　公務員関係（男1名　女0名　計1名）
自衛隊（自衛官候補生）1名

■PTA関係行事予定

6月17日(土)　1･2年次PTA集会
7月6日(木)　PTA進路対策委員会大学見学会(函館)
7月6日(木)～7日(金)　東北地区高等学校PTA連合会盛岡大会
8月8日(火)　県高P連中南地区協議会「親と子と教師の集い」
8月24日(木)～25日(金)　全国高等学校PTA連合会静岡大会

発行／青森県立弘前南高等学校 父母と教師の会　編集／広報委員会 弘前市大字大開4-1-1 ☎0172-88-3236　印刷／小野印刷　平成29年５月31日